

ロケットスタート桃栗3年「リンゴ1年」

技術の概要

未収益期間を大幅に短縮できるポット養成フェザー苗！

○植えてすぐ成るリンゴ苗

- ①大苗育苗：不織布ポット（30cm）で1年養成
- ②側枝発生促進：植物成長液剤（50又は100倍）を10～15日間隔で8～9回処理
- ③定植初年収量：9品種平均36kg/10a（最大137kg～最小4kg）

○どこでもリンゴ園

- ①かん水：2リットル/本/dayで苗木と若木の生育促進と着果安定
- ②省力：ソーラー式自動かん水装置で80%省力化と自由な圃場選定を実現



図1 ポット養成フェザー苗
（※定植初年の結実状況）



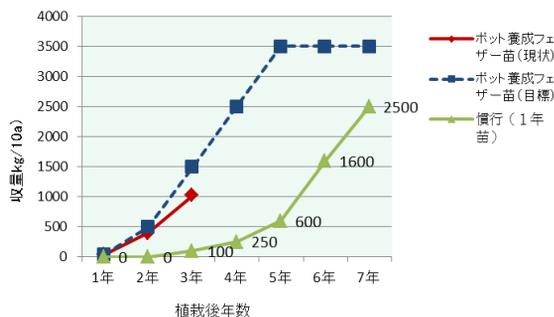
図2 ソーラー式自動かん水装置
（※電源確保の難しい園地に最適）

期待される効果

- ①未収益期間大幅短縮（慣行より2～3年短縮）！！
- ②定植3年目までの販売額が70%程度向上

表 定植3年目までの収量と販売額

		定植～3年目合計
ポット養成 フェザー苗利用	収量(kg/10a)	1,452
	販売額(円)	363,000
慣行 1年生苗(対照)	収量(kg/10a)	860
	販売額(円)	215,000



【お問い合わせ先】

岩手県農業研究センター技術部果樹研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田20-1

TEL0197-68-4419

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。